



みずほ

第 13 号

平成18年 8月 1日

発行
岐阜県瑞穂市議会

編集
瑞穂市議会広報編集委員会

市議会だより



▲みんなにお祝いしてもらった誕生会（＝中保育・教育センターにて）

平成18年第2回
瑞穂市議会
定例会

新議会構成が決まる 2p

- 委員会構成 4p
- 一般質問 ～市政を問う～（10人） 7p
- 教育委員の任命同意・固定資産評価審査委員の
選任同意・意見書 5p
- 議員紹介 12p

常任委員の選任

常任委員は、議長の指名により各委員5名を決定しました。議員は、いずれかの委員会に所属することになっています。各委員会では、委員長及び副委員長を互選し、次のとおりとなりました。

産業建設常任委員会 (5名)



委員長
浅野 楔雄



副委員長
小寺 徹



棚瀬 悦宏



星川 睦枝



堀 孝正

文教常任委員会 (5名)



委員長
若園 五朗



副委員長
山本 訓男



西岡 一成



土屋 勝義



広瀬 時男

総務常任委員会 (5名)



委員長
澤井 幸一



副委員長
篠田 徹



広瀬 捨男



小川 勝範



熊谷 祐子

厚生常任委員会 (5名)



委員長
安藤 由庸



副委員長
松野藤四郎



山田 隆義



藤橋 礼治



桜木ゆう子

議会運営委員会 (5名)



委員長
山田 隆義



副委員長
星川 睦枝



棚瀬 悦宏



熊谷 祐子



広瀬 時男

議長選挙

3名の議員が議長に立候補したので、それぞれ所信表明を行ったあと、投票により議長を決定しました。

投票結果：藤橋礼治 15票
広瀬捨男 4票
小寺 徹 1票



藤橋 礼治

藤橋議長所信表明要旨

浅学非才な私ではございますが、この議会を汚さないように、市民の要望に応えるよう、みなさんとともにがんばっていききたいと思います。

副議長選挙

2名の立候補があったので、それぞれ所信表明を行ったあと、投票により副議長を決定しました。

投票結果：小川勝範 14票
西岡一成 4票
無効 2票



小川 勝範

小川副議長所信表明要旨

まことに微力な私ですが、瑞穂市の発展と、そして市民のための円満な議会運営を目指し、藤橋議長のもと補佐役として、また議員のみなさんと力を合わせて、市をよくするため誠心誠意努力したいと存じます。

議員の選任

議会運営委員は、多数の議員で構成される議会を円滑かつ効率的に運営するために置かれる委員会で、議長の諮問機関的な性格を帯びています。委員会で、委員長及び副委員長を互選し、下欄のとおりとなりました。

新議会構成が決まる

出資法人に関する特別委員会を設置

本定例会の最終日、6月9日に「出資法人に関する特別委員会設置に関する決議」が若園五朗議員から提出され、賛成多数で可決された。

出資法人に関する特別委員会(委員長 広瀬捨男)は、市の出資法人(瑞穂市土地開発公社、財団法人瑞穂市施設管理公社、みずほ公共サービス株式会社)について、住民の負担にかかる税金が目的どおりに使われているかどうかを監視する意味において、その経営等の状況を調査する目的で設置され、調査が終了するまで活動することとなった。

これにより、瑞穂市議会に設置された特別委員会は、合計で8委員会となった。(下記参照)



		山田 隆義	西岡 一成	澤井 幸一	土屋 勝義	棚瀬 悦宏	星川 睦枝	広瀬 捨男	山本 訓男	藤橋 礼治	小寺 徹	小川 勝範	桜木 ゆう子	堀 孝正	浅野 楔雄	松野 藤四郎	熊谷 祐子	広瀬 時男	若園 五朗	篠田 徹	安藤 由庸	
議長	副議長																					
監査委員	総務課																					
常任委員会	産業建設																					
議会運営委員会	厚生文教																					
特別委員会	議会改革検討																					
	下水道整備促進																					
	夢のまちづくり都市計画																					
	公共交通対策																					
	地域防災対策																					
行財政改革																						
土地財産調査																						
出資法人に関する																						
議会広報編集委員会																						

党派結成

本定例会の開会前、2つの党派から議長に結成届が提出された。

民主党瑞穂会 (1名)
代表 松野藤四郎
届出日 18年5月30日

改革会 (4名)
会長 広瀬捨男
顧問 堀 孝正
幹事長 西岡一成
事務局長兼会計 熊谷祐子
届出日 18年5月30日

党派とは、複数または個人の議員が市政に関する調査研究を行うことを目的に結成されるものである。これ、瑞穂市議会の党派は合計で5党派となった。(下記参照)

党派名	所属議員名
翔の会(6人)	広瀬時男、浅野楔雄、若園五朗、安藤由庸、篠田 徹、山田隆義
新政会(5人)	棚瀬悦宏、澤井幸一、星川睦枝、藤橋礼治、小川勝範
日本共産党瑞穂市議員団(1人)	小寺 徹
民主党瑞穂会(1人)	松野藤四郎
改革(4人)	広瀬捨男、堀 孝正、西岡一成、熊谷祐子
無所属(3人)	土屋勝義、山本訓男、桜木ゆう子

教育委員の任命

定例会初日の6月1日、教育委員の任命について、議会の同意を求める議案が提出された。

教育委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術および文化に関する見識を有する者のうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て4年の任期で任命することとなっている。現在、5人の委員が在職しているが、このうちの1人、木寺清勝氏の任期が18年7月4日で満了する。今回の議案は、後任の委員に古川正敏氏を任命するため議会の同意を求めるもので、議会は全会一致で同意した。

古川正敏 田之上395番地1(敬称略)

固定資産評価審査委員の選任

定例会初日の6月1日、固定資産評価審査委員の選任について、議会の同意を求める議案が提出された。

固定資産評価審査委員と、固定資産課税台帳に登

録された価格に関する不服を審査決定するため設置される固定資産評価審査委員の委員で、当該市町村の住民、市町村税の納税義務がある者または固定資産の評価について学識経験を有する者のうちから、議会の同意を得て、3年の任期で市町村長が選任することとなっている。

現在、3人の委員が在職しているが、任期が18年6月30日で満了する。今回の議案は、後任の委員を選任するため議会の同意を求めるもので、議会は全会一致で同意した。

牧野泰蔵 牛牧19番地1
大野健治 只越989番地11
北村孝治 大月110番地(敬称略)

意見書

定例会最終日の6月9日、議員より意見書2件が提出された。

慎重に審議した結果、「出資法等の改正で上限金利の引下げ等を求める意見書」は賛成多数で否決、「道路特定財源制度の見直しに関する意見書」は賛成多数で可決し、関係機関に送付した。

請願・陳情などを受け付けます

市議会では、請願・陳情などを受け付けています。請願の提出には市議会議員の紹介が必要です。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。例(下記様式の記入項目が満たされていれば、この様式にとらわれません。また、縦書きでも可能です。)

年	月	日
(あて先) 瑞穂市議会議長		
住所	氏名	(印)
住所	氏名	(印)
紹介議員 氏名		
についての請願		

備考 請願者が2人以上の場合は、請願文末尾に連署のうえ、代表者1人を定めてその旨を表示すること。

道路特定財源制度の見直しに関する意見書(要旨)

平成17年12月9日、「道路特定財源の見直しに関する基本方針」が、政府・与党合意のもと決定された。同方針では、「国の財源が悪化を招かないよう十分に配慮」したうえで「一般財源化を図ることを前提とし、来年の歳出・歳入一体改革の議論の中で具体案を得る」との認識が示されており、地方の道路整備財源が大幅に不足する懸念を払拭し得ない内容となっている。

瑞穂市内の道路においても、必要な道路整備、「安心・安全なまちづくり」のための歩道整備やバリアフリー化など、速やかに進めなければならない課題も多く抱えている。また、市の将来の発展のためには、高速道路ネットワークとなる東海環状自動車道路西回りルートの日も早い開通が不可欠である。

現在、国において、見直しの具体案が検討されているが、道路特定財源は、自動車利用者を中心とした納税者の受益者負担である。したがって、具体案は、この制度の趣旨を踏まえ、納税者の理解が得られるような内容であるとともに、遅れている地方の道路整備に支障をきたすことのないよう強く要望する。

(提出先)
衆議院議長 財務大臣
参議院議長 国土交通大臣
内閣総理大臣 経済財政担当大臣
総務大臣

議案審議

本定例会に提出された議案について、主な審議の内容は次のとおり。

国民健康保険税条例一部改正案

可決

地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、公的年金等の最低保障額が140万円から120万円に引き下げられるため、激変緩和措置として、瑞穂市国民健康保険税の課税の特例事項について改正するもので、次のような討論が行われた。

【反対】 国の補助金とそれに対する税源移譲の財政措置との関係では、平成15年からの4年間で1兆3千億円近い地方財源が削除されている。そういったことを踏まえた上で施策を考えていかないと、一つ一つの施策では目先が奪われてしまう。

今回の改正で、公的年金等の最低保障額が140万円から120万円に、20万円引き下げられる。その緩和措置ということで、2年間だけの措置となる。このような国民を惑わすような国の施策に対して、地方からでも異議を申し上げたい。

などの討論があり、採決の結果、賛成多数で可決した。

つすずみ研修センター条例一部改正案

可決

地方自治法の規定により、つすずみ研修センターの管理運営について、指定管理者制度を導入することができるよう条例の改正を行うもので、次のような審議が行われた。

【Q】 つすずみ研修センターが入っている施設が大変な赤字になっているとの報道があったが、その額は、**【A】** 16年度は約1900万円の赤字。17年度の事業報告はまだ受けていないが、企業努力により赤字は減っているとのこと。

【Q】 施設の運営や利用が低迷しているならば、住民の税金を有効に使うという姿勢がなければいけないのではないかと。**【A】** 広報の不足など努力不足だと思っている。利用料の優遇措置やつすずみ温泉が行っている月1回の無料バスの運行など、そういったものを広報していきたい。

また次のような討論が行われた。**【反対】** その程度の努力では利用者が増えるとは思えない。赤字で大変なことにならないうちに、指定管理者制度の導入よりも、もう撤退したほうがいい。

【賛成】 執行部に努力してもらったことによって、運営について最善を尽くしてもらいたい。

などの審議があり、採決の結果、賛成多数で可決した。

介護保険居宅サービス事業等に関する実施条例一部改正案

可決

介護保険法の改正等に伴い、要支援、要介護になるおそれのある高齢者を対象とした介護予防サービス事業が、介護保険制度の中に新たに位置付けされたため、条例の一部を改正するもので、次のような審議が行われた。

【Q】 改正介護保険法案は17年6月22日に成立している。また実際にも、介護予防事業を包括支援センターなどで行っている。この条例案をなせもつと早く、3月定例会での提出や本定例会前の専決処分をしなかつたのか。**【A】** 適用時期については、前もって適用を定めておく方法と後から遡及して適用する方法がある。遡及適用は、住民に対してマイナスになるものはできないが、今回はプラスになるもの。そういう意味で状況を見極めながら進めてきた。

介護保険の法律などで、国からいまだに訂正がきている。国の動きを確かめてから、適正な動きを

していきたいと考え6月にした。現場については、4月からサービスを実施している。

などの質疑があり、採決の結果、賛成多数で可決した。

一般会計補正予算(第1号)

可決

18年度一般会計補正予算(第1号)は、歳入歳出それぞれ600万円を追加し、予算総額を134億8600万円とするもの。名譽市民・名譽市民の松野幸泰氏が5月22日に逝去され、その県民葬が県で企画されているので、市としても追悼の意を表し、市民葬を合同葬として行うべく、その費用を計上するもので、次のような質疑が行われた。

【Q】 費用は県との折半で行われるのか。また予算計上の根拠は。**【A】** 費用はおおむね折半である。予算計上の根拠は、過去に葬儀が行われた名譽市民の実績を参考にしている。

などの質疑があり、採決の結果、賛成多数で可決した。

長護寺川の河川改修事業は

平成7年度より県が進めている

都市整備部長

【Q】 河川改修事業の進捗状況と内容は。**【A】** 都市整備部長 平成7年度より県が進めており、事業内容は全体計画延長約900m、総事業費約7億円、平成12年度までにブロック護岸工法により宮田橋までの約130mが完成。

その後、河川法の改正もあり多自然型工法の採用で計画を見直し、現在までに用地取得もほぼ完了している。

中仙道の歴史を

生かした個性あるまちづくりについて

【Q】 皇女和宮の御降嫁にまつわる「呂久の渡し」や「美江寺宿」など、中仙道の歴史を生かした個性あるまちづくりの考えは。**【A】** 教育次長 呂久と美江寺で中仙道の歴史を伝承している事業が、地元の自主的な事業として行われている。市としては、中仙道の

今後早期完成に向けて引き続き要望していきたい。

【Q】 自然形態を生かした親水公園など、市は計画しているか。**【A】** 市長 長護寺川は水源から流末までが市の中にあつて、自分たちの意図で川づくりができる貴重な川。そういったことを県も理解してくれており、周辺環境整備もできる限り

歴史を伝承していくという観点から補助金を交付している。また県が進めている岐阜園風景観まちづくり事業に、美江寺自治会が参加し、美江寺宿の保存や伝承について実行委員会を立ち上げて、検討していただいている。

【A】 都市整備調整監 伝統や文化、歴史を生かしたまちづくりを進めることは、地域や世代間の連帯感をはぐくみ、誇りを持てる地域にするためにも重要なこと。

それを支援するための基盤整備をする役割があると考えている。また検討会などで一緒に考えていきたい。



自然を残す長護寺川(=宮田橋より北を望む)



若園五朗議員

やっていきたい。

議案精査を求める

決議に対する対応は

総務部長

【Q】 法令審査委員会をどのように改めたのか。**【A】** 市長公室長 部長以上による政策審議委員会と、各課代表職員を集めた例規審査委員会を新たに設置した。

【Q】 その役割分担は。**【A】** 市長公室長 政策審議委員会は、新しい政策がいかにどうかの判断をする。例規審査委員会では、その政策が法に触れるかどうかなど内容の判断をする。例規等の文言整理は現課で行う。

プロムナードについて

【Q】 プロムナード事業の進捗状況と計画は。**【A】** 都市整備調整監 平成18年度は市中心部から中川へつなぐ別府保育所北側市道の歩道整備を行うとともに、19年度以降も中川や五

六川、犀川堤防の歩道環境の整備、具体的には舗装や休憩所の整備、それらをつなぐ歩道や歩行者優先道路の整備を進めていきたい。併せて、快適な歩行空間とするための除草やごみの清掃なども重要であることが

ら、地域の方と協議しながら進めていきたい。

【Q】 史跡めぐりと組み合わせた整備はできないか。**【A】** 教育長 史跡めぐりのものは、今現在、具体的な方向性では動いていない。しかしその必要性や重要性は認識している。市内にある文化財や史跡などに多くの方が訪れていた

だけのように検討していきたい。



親しまれる道に生まれ変わります(=別府保育所から中川への市道)



安藤由庸議員

【Q】 法令等の解釈や運用に当たる専門の部署を設けてはどうか。**【A】** 市長公室長 政策推進課で新しい事業についての法的なことを考え、担当課と協議しながら進めているので、この方法でいいのではないかと思う。

まちづくり交付金を活用した駅周辺整備は

市長 秋以降に工事を進めたい

Q JR穂積駅周辺のまちづくり交付金事業の進捗状況は。

A 都市整備調整監 歩道や施設のバリアフリー化を国に提案したところ、4月に採択された。18年度は、別府地下道のスロープ化、図書館周辺の歩道整備など

の工事を秋以降に進めたい。「瑞穂市活性化」の提言 瑞穂・ほっとビジョン3」というのが民間の任意団体から出ている。このような意見を取り入れながら駅前開発を行っていく考えは。

A 市長 まちづくりはま



篠田 徹議員

ちに住む人たちの力でやることだと思っている。そういう意味で、いろんな意見を聞きながら、また力を借りながら進めていきたい。

各審議会について

Q 市の各審議会はどのように開催され、審議されているのか。

A 市長公室長 約20の審議会が運営されており、定期的に開催されるもの、議題に応じて開催されるもの、一定期間を過ぎて機能を停止しているものなどがある。招集、進行は会長のもとに進めているが、行政の要請で進められることもある。自立できる行政が地方に求められているので、審議会

の進め方も検討する必要がありと考えている。

Q 市民有志の集まりにも、審議会に劣らない提言をまとめられる人たちがいる。そのような団体へのかかわりや援助はどう考えているか。

A 市長公室長 市川市千葉県に市民支援制度というものがある。これは、市民税の納付税額の1%を福祉、環境、文化などの公益的な事業を行う団体に支援金として交付する制度。このような市民活動を育てていく制度を検討し、提案型

の行政をやることが大事だと思っ。

Q この制度について市長の考えは。

A 市長 この制度には若干疑問があるが、地域を良くする活動を支援するシステムは工夫してみる必要があると思っ。

その他の質問

- ・未納税収納の考え
- ・大月浄水公園に流れる排水について
- ・市場化テスト法案成立以降の窓口業務について

横屋下吹地区の有効活用は

市長 将来は何らかを考える必要がある

Q 横屋下吹地区は、国道21号線とJR東海道本線との間に位置する、地の利のよい魅力的な場所であると思っ。ここは都市計画調整区域で、総合計画の土地利用方針図では農地・田園居住ゾーンとなっている。今後、この地域の土地を有効活用する考えは。

A 都市整備部長 この地域は、以前、横屋古橋地域等の市街化区域を含めた旧巢南町の南部まちづくり計画の中で、土地区画整理事



犀川堤防から西へ見た横屋下吹地区



星川睦枝議員

業による整備計画が断念された経緯があり、現状では市街化を抑制する農地・田園居住ゾーンとする調整区域での位置づけとなっている。しかし、位置的要素から将来は何らかの土地利用を考える必要がある。

A 市長 非常に便利な場所だが、その土地をどう生かすかは地権者の方の考えが基本となる。また、当時の開発計画ではJRの駅を核にしようという考えだが、駅をつくるのは難しい現状なので、それを核にしての計画は難しいと思っ。

下犀川橋架け替え事業について

Q 下犀川橋架け替え事業の進捗状況は。

A 都市整備調整監 果が平成15年度から実施している事業で、牛牧側の用地買収などがほぼ完了したため、今年5月より一部取り付け

工事を実施している。今後は、牛牧側取り付け道路工事を着工し、横屋側用地買収を実施する。それから橋梁下部の工事にかかり、20年から橋梁の工事を本格的に実施し、22年度に完成させたいと果から聞いている。

Q 立ち退きの説明がまだない方がいるなど、説明のバランスが取れていないの

幼保一元化の結論は

市長 十分な状況の把握が必要

Q 別府保育所の建設は、近くにほづみ幼稚園があり、幼保一元化の結論を出してから進めるべきでないか。

A 市長 保育所と幼稚園では狙いに違いがあり、どちらにウエイトを置くか、保護者の方がどちらを選ばれるかという問題がある。また一度方向を決めてしまうと、その方向で動かざるを得ない。そのため十分な状況の把握が必要だと考えている。

幼稚園を同じスタイルで動かすのではなく、それぞれ特色のある運営で、保護者の方の選択を待つのも一つの方法だと考えている。ただ、現段階では結論を出していない。

Q 保育・教育センターの5歳児への指導力が低下していると思うがどうか。

A 市民部長 保育士に多くの研修の場を与え、また保育所や幼稚園との人事交流をして保育技術の向上に努めている。当市の職員は



堀 孝正議員

保育士と幼稚園教諭の資格を有しており、その力を発揮してくれていると思っ。



給食センターについて

Q 厨房設備業者をプロポーザルで選定したが、その審査委員の知識を高めるためにどのような研修をしたか。

A 教育次長 1回目の審査委員で、審査に当たった着眼点の研修をした。Q 見識を高めるため、視

察に行ったことは、A 教育次長 審査委員のうち、所長や栄養士は、それぞれ施設を見てきている。その他の委員は、それぞれの立場で知識を生かして審査に当たった。

Q 建物の設計業者はどのような方式で選定するのか。業者に図面を書かせ、コンペで行えば、良いものが安価で公平公正に選定できるのでは。

A 総務部長 指名競争入札で選考を行う。

A 市長 給食センターは一つの工場だと思っ。7000食を限られた時間の中でつくるのが重要なこと。その施設をつくる能力のある設計事務所を選んで、最も値打ちな業者に決まればいいと思っ。また排水の問題と衛生面について理解しているかも重要。

学校給食は教育の一環であると考えるか

教育長 生きる力の育成そのものだと考えている

Q 学校給食は教育の一環であると考えるか。

A 教育長 食を通じての望ましい食習慣の形成を中心に、健康な生活への態度づくり、食料にかかわる理解、よき人間関係づくり、などが給食における教育的な意味で、生きる力の育成そのものだと考えている。

Q 調理員の人員費は、地方交付税の算定基礎に入っているか。

A 総務部長 学校給食については、施設運営の費用の算定基準に、児童1人当たり幾らというものはあるが、調理員の人員費として算定されるものはない。

Q 調理員について、平成9年度と平成18年度の、正職員と日々雇用の人数はどうなっているか。

A 教育長 栄養教諭は教壇に立つて教えるという立場になる。果では配置されていないが、検討されていると聞いている。当市では2校に配置されている学校栄養職員が、全学校に向

雇用2人。巢南で正職員8人、日々雇用0人。平成18年度では、穂積で正職員7人、日々雇用等10人。巢南で正職員2人、日々雇用等9人となっている。

Q 子ども達の食生活の状況を調査する必要があるのではないか。

A 教育長 子どもの食事等の状況については、各学校の各学年1学級を抽出して調査している。朝食の欠食についても調査している。Q 文部科学省が栄養教諭制度の導入を決めたが、当市の小・中学校ではどうなっているか。

A 教育長 栄養教諭は教壇に立つて教えるという立場になる。果では配置されていないが、検討されていると聞いている。当市では2校に配置されている学校栄養職員が、全学校に向



小寺 徹議員

いて、発達段階に合わせた食に関する指導をしている。

Q 新設される給食センターの調理業務は、安全でおいしい給食を提供するためにも、正職員で行っていくべきではないか。

A 教育長 給食物資の調達、献立管理、調理業務の指導、会計経理事務は正職員で、調理業務、配送業務は順次民間等へ委託する方向である。

その他の質問
「みずほ教師塾」教師の質を高めるために」の発行について



安全でおいしい給食がつけられている穂積給食センター調理場

瑞穂市生活排水処理基本計画の策定は

数十年かかる長期的な事業

市長

下水道の整備について、瑞穂市生活排水処理基本計画の策定は、いつになるか。

水道部長 ホームページや広報などでPRしている。コミュニティ・プラントについてはアンケート調査を行い、その結果に基づき説明会などを計画し、接続件数の増加に努めたい。

市長 財政事情や終末処理場をどこにするかなど、難しい問題があり、完成するまでに数十年はかかる長期的な事業だと認識している。

下水道への接続率向上のための具体的な施策は。

水道部長 ホームページや広報などでPRしている。コミュニティ・プラントについてはアンケート調査を行い、その結果に基づき説明会などを計画し、接続件数の増加に努めたい。

経常経費の30%カットについて

平成18年度の予算編成方針で、16年度をベースに3年間で経常経費を30%カットするとあったが、その根拠は。

総務部長 16年度当初予算での経常経費は101億

円。市の標準財政規模は約81億円で、これには10億3000万円の地方交付税が含まれている。国の三位一体改革により、当市は近い将来、交付税の不交付団体となる。このため、地方交付税を差し引いた約71億円が本来の標準財政規模と認識し、それを基準として30%削減計画を示した。

どの経費をどれだけカットするのか。

市長 大きなウエートを占めるのは人件費だと思う。仕事の仕方をいかに見直すかがポイント。団塊の世代が定年退職に入るので新規採用とのバランスも考える必要がある。



広瀬捨男議員

水道部長 地域で合意および理解が得られる処理方式を進めていきたい。



接続率の向上が期待される(=アクアパーク別府水処理センター)

公共施設のアスベスト対策は

状況に応じて処理する

総務部長

公共施設のアスベスト対策について、調査の結果、レベル1と2に判定された4つの施設の対策は。

総務部長 レベル1と判定された穂積小学校の中舎と北舎の渡り廊下は、囲い込みがされていて安全性に問題はない。撤去は7月後半から8月中旬にかけて計画している。工事の施工には万全を期したい。同じくレベル1の旧水道事務所の文書管理倉庫は、6月中旬に撤去工事を終える予定。レベル2の菓南庁舎4階の機械室の煙突は、固められて固定化している状態。今後、改修工事などが行われた場合は、封じ込めを行っていききたい。同じくレベル2のほづみ幼稚園の造型室の煙突は、4月に取替え工事を終えている。

旧水道事務所の文書管理倉庫には特に危険性の高いアモサイトが使われている。当時、室内で作業していた職員の健康状態が心配

だが、健康診断は実施するの。総務部長 当時は自家発電室として使われており、常時そこに職員がいたわけではない。また現在、文書管理倉庫としての使用も年に数回の出し入れのみ。安全性について問題はないという認識で、調査や健康診断を実施する予定はない。

JR穂積駅の第1駐輪場にもアスベストが使用されている。この施設の利用者は年間8万3千件であり、レベル3ということだが、安易な取り組みでなく除去等の対策を考

壁の部分に使われているが、調査の結果、飛散しないとのこと。安全性に問題がないため、撤去工事の予定はない。



アスベスト対策は万全を(=旧水道事務所)



松野藤四郎議員

で、何らかのアスベスト含有製品が使われている。市民が安心して施設を利用していたため、早期解消が必要である。実施計画はあるのか。総務部長 レベル3の物件については、アスベストが使用されているという状況を記録に残しておき、解体時などに十分注意して処理したいと考えている。

プロポーザルは改善の必要があるのでは

当然考えていかなければならない

市長

給食センター厨房設備工事の契約業者は、プロポーザルで2位となった業者より見積金額が約4800万円高かった。市民の税金をそれだけ余分に使う価値があるか。

教育次長 その価値があるか。価格だけを見たのではなく総合的に評価した結果。

プロポーザルの審査で使われた納入実績一覧表に載っていたのは、契約先の岐阜アイホー調理機材ではなく、別会社の㈱アイホーのデータではないか。

教育次長 そのとおり。岐阜アイホー調理機材は、㈱アイホーの販売会社で子会社。

日本の一流厨房機器メーカー3社と並べて、一地方販売代理店の岐阜アイホー調理機材をプロポーザルに業者指名したのはなぜか。教育次長 岐阜県内で

この製品を取扱う場合は、岐阜アイホー調理機材を通じて納入してくる代理店制度をとっているため。

4月臨時議会で出した業者選定審査資料は、議会後回収され、その後情報公開請求してもレイアウト図など4種類が非公開放だが、公益上公開すべきではないか。

教育次長 プロポーザル方式事務手続要領により、技術提案書を提案者に無断で選定以外に使用してはならないため、議会で議決に必要な資料として配布し、後ほど回収した。

市長 この資料が、法人の場合の絶対的な開示事項に当てはまるとは認識していない。例えば工場の排水問題などは、企業が開示をされては困ると言っても、



ウェット方式の穂積給食センター調理場



熊谷祐子議員

これは公表すべき絶対的開示事項になる。

今後のプロポーザルでは、審査委員会に外部の専門家を加えることや、審査基準・配点基準の事前公表など改善の必要があるのではないか。

市長 当然考えていかなければならない事項だと思っている。審査委員の選定などは、何でも外部から入れればよいという性格のものではなく、ケース・バイ・ケースの問題になると思う。

タリで地籍調査を行う必要があるのでは

地域と協議できる場をつくりたい

都市整備部長

穂積字タリ3110番地5と穂積字タリ2990番地2の土地の所有権の帰属はどこか。

都市整備部長 タリ3110番地5は市の所有。タリ2990番地2は9人の共有土地で、共有者の1人から最近、市に寄付を受けている。

穂積字タリ2987番地の土地は、昭和工業が平成16年に㈱SANKOHTCに売却した土地である。この土地は公図と比べると測量図では約35坪、タリ2990番地2とタリ3110番地5の方へはみ出していると思うがどうか。測量をし直すべきではないか。

都市整備部長 公図は土地の存在の表示なので、実際の寸法と必ずしも一致するものではない。タリは、現況と地形図が

非常に異なっており、1筆ごとの宅地の境界の確定は筆ごとにはできるが総体的にはできない状況。将来的には地籍調査を行い、市としても行政財産を確保していく必要があると考えている。

地籍調査の目的および意義は。

都市整備部長 1筆ごとの土地について、所有者地番、地目の調査ならびに境界および地籍に関する調査を行い、地籍図および地籍簿を作成する。その結果、土地の境界紛争を未然に防ぎ、土地取引を円滑化する。また公共事業の円滑化や課税についての適正化となる目的がある。

地籍調査の事業計画は。また調

査の優先順位は。

都市整備部長 平成14年度から旧菓南町で着手し、今は呂久をやっていく。将来は全域で実施する予定だが、地域の住民とのコンセンサスが要ると思う。

真つ先にタリで地籍調査を行う必要があると思うがどうか。

都市整備部長 地域の方の受け入れがされていないとできないと思う。地域の代表者に話をして、協議できる話し合いの場をつくるのができれば、県とも協議しながら、優先的にタリ地域を地籍調査の区域として位置づけし、確定していきたい。



西岡一成議員



議員紹介です

文化

松野藤四郎

平成の大合併で新市が誕生し4年目を迎えました。人口密度が高く交通の条件として国道21号線、JR東海道線等利便性に恵まれ市民の足として活用されています。私の少年期は穂積村から合併により穂積町となり人口約6千人程度で自宅から穂積小学校や東海道線が一望できるのかな田舎でありました。道路は砂利道のため車が通ると砂水コリになります。夏休みには

水をまくのが日課でありました。ラジオ体操は朝6時から先輩の号令で、日中は長良川で水泳し深みに入っておぼれたりすると協力して助けてくれました。外で遊ぶ事が多く魚釣りやシジミを捕ったりし食卓の一品としたものです。猫の手も借りたい農繁期になると、早朝から夜遅くまで手伝いをしました。現在は機械化された農機具ですが当時は手作業であったため家族全員で行うのが普通でした。お正月になるとお小遣いを頂き友達と一緒に汽車に乗り岐阜へ映画を見に行くの

が唯一の楽しみでした。現在2人の孫に恵まれ、昔の出来事や体験した事を話しますが一所懸命になって聞いてくれます。時には「何で、どうやって」等の質問責めに合ったりします。これが我が家の文化であり大切にしたいものです。この写真は「食とみどり、水を守る県会議」による田植の風景です。アフリカの子供達に支援米を送るの一環です。親子120人が泥と汗にまみれながら作付けしました。将来を担うすばらしい子供達の姿を見て、私は1期生ですが市民の皆



NPO団体による田植のボランティア

様の思いや願いを胸にいただき頑張りますのでご支援を願います。

子育てを 楽しめる町に

熊谷祐子

写真は撮るのも撮られるのも、好きではない。でもブログを始めてからデジカメの手軽さもあって撮ることは慣れた。撮られるのは相変わらず好きではない。議員選挙の時、大写真になったポスターを町中に張ることも抵抗感があつた。今も。

好きな写真は1枚だけ。
1歳の誕生日の写真。



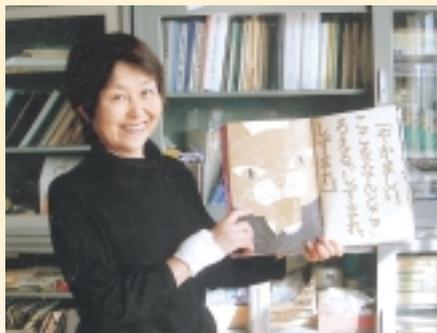
1歳の誕生日

遠くを見ている眼が好き。どこを見ているのだろうか？自分の人生の選か終わりまで見ているよつな。

二十余年前、子育て中の読み聞かせの延長で絵本の会をつくった。多くの子どもたちや母親たちと関わってきたが、この町の子育て支援は他市に比べて大幅に

遅れたままだ。県下一の出生率なのに児童館が一つもない。「学童保育？親がやらない！」五十余年トップであり続けた家族出身の現市長はそう言うが、子育て支援は親支援であり、男女共同参画社会の推進であり、道路、公園、バリアフリーなど、快適なまちづくりそのものであると思っ。

私は知り合いの1人もいない町で子育てを始めた。



読み聞かせの写真

瑞穂市のお母さん達が少しでも子育てを楽しめるよう、残り少ない人生、微力を尽したいと思う。

編集後記

暑さも本格的になつて、夏のイベントが各地で行われています。夏の交通安全県民運動が、ゆずりあう心で夏の交通事故防止をスロガンに、7月11日から20日までの10日間実施されました。暑さによる疲労や行楽地へのレジャーによる交通事故が予想されます。自分の安全は自分で守るという意識で交通ルールを守り、事故防止に努めたい。(山本)

編集委員会では、議会の様子が市民のみならずにリアルに伝わるように編集に努めています。しかし、議会を傍聴し、目で見、耳で聞くことには及びません。6月議会の議会運営委員会では、市民のみなさんが傍聴しやすくするため、一般質問は土・日曜日に開催することを検討していくことになりました。実現したときには、多くの市民のみなさんの傍聴をお願いします。(小寺)